

大学院特別講義

日時：平成27年5月15日(金) 16:00~17:30

場所：静岡県立大学 小講堂

世話教室：医薬品創製化学講座

対象：大学院生，学部学生，教職員（学外者の参加も歓迎します。）

演題：“生体ヘム分解反応、古くからある物語の新展開”

演者：齋藤 正男 先生（東北大学 名誉教授）

HP: http://www.tagen.tohoku.ac.jp/modules/www32/?content_id=1

概要：

齋藤先生は、生化学、構造生物学、ケミカルバイオロジーなどの幅広いバックグラウンドを武器に、生物無機化学の分野を長年牽引されてきた先生です。博士号取得後、渡米され、10年以上にわたりアメリカでPIとして研究室を主宰され、その後仙台に研究拠点を移されました。この4月に退職されましたが、現在もSBIC（Society of Biological Inorganic Chemistry）会長としてご活躍です。本講演では、先生が長年行ってこられた「ヘムの分解」に関する研究について紹介して頂きます。



ヘムオキシゲナーゼ（H0）は不要になったヘム（血液の赤色のもと）を分解して、鉄イオン・一酸化炭素（CO）・ビリベルジンに変換する酵素です。“分解して捨てる（代謝）”こと自体も大事なのですが、H0の反応は鉄の恒常性維持や細胞防御にも重要なことが分かっています。また、毒ガスと思われていたCOは様々なシグナル伝達に用いられていることが明らかとなり、H0はさらに注目を集めています。近年、H0は酸素センサーとして機能することまで提案されており、非常に重要かつ多彩な機能を持つ酵素として注目されています。

本講演では、H0の複雑かつ興味深い反応メカニズムを反応・構造の両面から詳細に議論し、また、H0の生理機能発現機構に関する研究成果についても紹介していただきます。

専門外の方にも分かりやすく話していただきますので、ご来場をお待ちしております。なお、「医薬品創製化学特論」の履修者は必ず受講してください。

問い合わせ先：

静岡県立大学 薬学部 医薬品創製化学講座
濱島 義隆

E-mail: hamashima@u-shizuoka-ken.ac.jp